

ために先づ同一目標の競争を共同して敢行することにありと思ふ。然かして此の競争の過程に於いて合同の機会を絶えし
把み、各同の機運を速めんと欲するものである。かゝる故に
共同競争委員会を組織することに絶対の必要と思ふものである。

決計

一 大トラストを結成してある紡績資本家に戦小 紡績労働
組合が一工場の内部に於て分裂し、常に資本家階級に攻勢を
すべきをあたえてある。例へば合同紡神崎工場に於ける組合
同盟、全国同盟、総同盟の対立の如き、合同紡天満工場に於
ける総同盟、全国同盟の対立の如き、福紡福山工場に於ける
総同盟、全国同盟の対立の如き、此等のことをみるときにこの
共同競争委員会の組織を痛感するものである。
無産階級陣営の四分五裂は、資本家階級に圧迫のスキを與
へ、産業合理化の強行を容易ならしめる以外何等得るところ
はない。然かし各団体の対立は共同せよ競争なくしては、決
つして解消するものではない。此の故に先づ同一資本を敵と

せる紡績労働組合間に、同一目標^{競争}のための共同競争委員会を
組織し、引いては各労働団体間に此を承認し、合同の機運を
進められし、可及的の合同の可能性ある団体の合同を敢行せんと
するものである。

- 実行方法
- 一 各紡績労働組合に提唱すること
 - 二 其のために委員五名を選出すること
 - 三 聯合會大会に提出すること

八、同一労働に對する同一賃銀の支拂の件

提案 北大阪支部
説明者

九、健康保険改正に関する件

提案 北大阪支部
説明

本文理由は別紙にて提出する